

## 令和元年度児童虐待防止対策に係る主な取組実績

## 1 児童虐待防止アクションプランに係る関係機関等の取組状況調査【継続】

## (1) 郵送調査

## ア 調査時期

令和元年5月

## イ 調査対象

- ・ 市町村
- ・ 県（福祉総合相談センター及び各児童相談所、広域振興局保健福祉環境部等、教育委員会事務局学校調整課、警察本部生活安全部生活安全企画課）
- ・ 一般社団法人岩手県医師会、一般社団法人岩手県歯科医師会、公益社団法人岩手県看護協会、一般社団法人岩手県助産師会

## (2) ヒアリング

## ア 調査時期

令和元年9月～令和2年2月

## イ 調査対象

平成30年度包括外部監査結果（指摘）を踏まえ、取組の促進が特に必要と思われる市町村を中心に県内11市町を選定し、ヒアリングを実施しました。

## 【参考】平成30年度包括外部監査

児童虐待防止アクションプランの取組率について、取り組むべきにも関わらず取り組んでいない県関係機関が含まれている項目については、速やかに100%に達するよう努めていく必要がある。

また、取り組んでいない市町村が含まれている項目については、当該市町村に対して、県が取組を促していく必要がある。

## 2 「ストップ・子ども虐待」キャンペーン

## (1) 概要

本県における児童虐待相談対応件数は、依然として高水準にあることから、「児童虐待防止推進月間」である11月を中心に、児童虐待のない地域づくりを目指して、県民一人ひとりが児童虐待問題に関心を持ち、理解を深めることを目的として実施しました。

この他、「女性に対する暴力をなくす運動」（パープルリボンキャンペーン）についても11月に実施することから、オレンジリボンの配布物品の中にDV防止のチラシを同封するなど、若者女性協働推進室と協力して啓発活動を実施しました。

## (2) 実績

## ア オレンジリボン街頭キャンペーン

広域振興局保健福祉環境部等（9公所）で、管内のショッピングセンター等において県作成の啓発グッズを配布した他、オレンジリボンツリーを庁内に設置する等の周知・啓発活動を実施

## イ 広報啓発

- ・ 三陸鉄道10駅、JR14駅、いわてIGR5駅に啓発ポスターを掲示
- ・ 主要営業所管内の路線バス（40台）にバスラッピング広告を掲載
- ・ 県公式ホームページ・ラジオ等での情報発信
- ・ 岩手県子ども虐待防止フォーラムの開催

### 3 岩手県子ども虐待防止フォーラム

#### (1) 実施日

令和元年11月7日(木) 13時30分～16時15分

#### (2) 実施場所

プラザおでって おでってホール(盛岡市中ノ橋通1丁目1-10)

#### (3) 内容

##### ア テーマ

ネグレクト家庭への支援

##### イ 構成

##### ・活動報告

##### ①「主任児童委員活動における児童虐待への対応」

(報告者：盛岡市米内地区民生児童委員協議会 主任児童委員 立花 妃恵子 氏)

##### ②「児童虐待防止に対する岩手県歯科医師会の取り組み」

(報告者：一般社団法人岩手県歯科医師会 常務理事 鈴木 卓哉 氏)

##### ③「母子保健療育と児童福祉領域を通じての遠野市の児童虐待予防への取り組みについて」

(報告者：遠野市子育て応援部子ども政策課 主任県助産師 菊池 幸枝 氏)

##### ・総括講演

「ネグレクトの現状と支援」

(講師 子どもの虹情報研修センター 研修部長 中垣 真通 氏)

#### (4) 参加者数

153名

### 4 児童虐待に関する児童相談所と警察の連絡会議及び合同訓練

#### (1) 連絡会議

令和元年7月23日(火)

#### (2) 合同訓練

令和元年11月22日(金)

### 5 児童福祉司等義務研修

#### (1) 児童福祉司任用前講習会(16名修了)

(前期) 令和元年6月24日(月)～26日(水)

(後期) 令和元年7月16日(火)～17日(水)

#### (2) 児童福祉司任用後研修(12名修了)

(第1期) 令和元年8月5日(月)～6日(火)

(第2期) 令和元年9月2日(月)～3日(火)

(第3期) 令和元年10月7日(月)～8日(火)

#### (3) 児童福祉司スーパーバイザー研修(受講者：4名)

子どもの虹情報研修センター及び西日本こども研修センターへの委託

#### (4) 要保護児童対策地域協議会調整担当者(市町村職員)研修(22名修了)

(前期) 令和元年11月20日(水)～22日(金)

(後期) 令和元年12月2日(月)～3日(火)

### 6 児童福祉施設等職員向け児童虐待対応研修

#### (1) 概要

令和元年度も引き続き、児童養護施設等の職員が研修を通じて、児童虐待への適切な対応や未然防止のための知識・技術を習得できるような内容として開催

#### (2) 実績(参加者：111名)

**ア 実施日**

令和元年12月9日（月）

**イ 実施場所**

いわて県民情報交流センターアイーナ 研修室812

**ウ 内容**

- ・ 講義1 「岩手県における児童虐待対応について」  
(講師：岩手県福祉総合相談センター 児童女性部長 蛭田 嘉男 氏)
- ・ 講義2 「児童虐待対応の基本的な理解について」  
(講師：東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科  
准教授 鑑 さやか 氏)

**7 医療従事者向け児童虐待防止研修**

**(1) 概要**

医療従事者等が、診療や健康診査等の場で、児童虐待が疑われる児童や支援が必要な家庭を発見し、通告機関に速やかに相談・通告することにより、児童虐待の予防及び重症化を防ぐことを目的として実施

**(2) 実績（参加者：137名）**

**ア 実施日**

令和元年11月11日（月）

**イ 実施場所**

プラザイン 水沢

**ウ 内容**

- ① 「児童虐待防止対策について」  
(講師：奥州市健康福祉部子ども・家庭課 家庭福祉係長  
柴田 敏子 氏)
- ② 「児童虐待の現状と対応について」  
(講師：岩手県一関児童相談所 次長兼上席児童福祉司  
中村 敬 氏)

**8 歯科医療従事者向け児童虐待防止研修**

**(1) 概要**

歯科医療従事者等が、診療や歯科健診等の場で、児童虐待が疑われる児童や支援が必要な家庭を発見し、通告機関に速やかに相談・通告することにより、児童虐待の予防及び重症化を防ぐことを目的として実施

**(2) 実績（参加者：41名）**

**ア 実施日**

令和2年3月14日（土）

**イ 実施場所**

岩手県歯科医師会館

**ウ 内容**

- ・ 講演 「ネグレクトの現状と支援」  
(講師：子どもの虹情報研修センター  
研修部長 中垣 真通 氏)

**9 RIFCR™（リフカー）研修**

**(1) 概要**

子どもの周囲にいる大人が、性虐待・身体的虐待・ネグレクト・DVの目撃等、人には話

しづらい経験をしたことが疑われる子どもに対してどのように面接し、何を聞くべきで、何を聞くべきではないかということ半構造化した面接プロトコルを習得するための研修を実施

(2) 実績（参加者：38名）

ア 実施日

令和元年10月15日（火）

イ 実施場所

エスポワールいわて

ウ 講師

認定特定非営利活動法人チャイルドファーストジャパン

10 警察との連携強化（警察本部への岩手県児童相談所情報管理システムの導入）

児童虐待対応に関する児童相談所と警察の相互の連携を強化し、重篤な事案の防止や早期発見により児童の安全確保を図ることを目的として、平成30年9月18日に警察本部生活安全部と協定を締結。

更に、本協定に基づく児童虐待事案に関する情報共有の迅速化を図るため、警察本部（生活安全部生活安全企画課）に「岩手県児童相談所情報管理システム」を導入し、令和元年8月から稼働を開始しました。

11 その他

(1) 岩手県社会的養育推進計画の策定（令和2年3月策定）

ア 策定の趣旨

家庭環境に恵まれず社会的養護を必要とする子どもたちが、適切な支援やケアを受けながら家庭的環境の下で養育されるための取組などを推進することを目的として、国の通知に基づき策定するものです。

イ 策定の背景

(ア) 平成26年度に「岩手県家庭的養護推進計画」（H27～R11の15年間）を策定し、里親への委託や施設の小規模化等を推進

(イ) 今般、「新しい社会的養育ビジョン（H29年8月）」及び「都道府県社会的養育推進計画の策定要領（H30年7月）」が国から示され、現行の家庭的養護推進計画を見直し、次の事項を盛り込んだ社会的養育推進計画を今年度中に策定

- ・ 里親等への委託を進める「家庭養育優先原則」を徹底
- ・ これが適当でない場合は、できる限り良好な家庭的環境として施設の小規模かつ地域分散化を推進
- ・ 里親委託率の国の目標（乳幼児75%、就学後50%）が示され、都道府県が地域の実態を踏まえて目標を設定
- ・ 代替養育を必要とする子ども数の見込み、里親等への委託の推進に向けた取組等、「社会的養育ビジョン」に盛り込まれた内容を網羅する計画として策定

（主な指標）

a 代替的養育を必要とする子どもの数の見込み

現状（H30） 417人 → 目標値（R11）516人

b 里親委託率

現状（H30） 22.3% → 目標値（R11）48.4%

(2) 児童相談所の改築等

ア 宮古児童相談所

改築に向けて、基本・実施設計を実施しました。

**イ 福祉総合相談センター**

一時保護所の環境改善を図るため、洋室化等に係る改修を実施しました。

**(3) 会議**

**ア 岩手県社会福祉審議会児童福祉専門分科会措置部会**

昨年4月に発生したネグレクトによる死亡事案について、検証報告の提言に対する県や市町村の取組状況等について報告（令和元年9月18日（水））

**イ 岩手県要保護児童対策地域協議会**

令和元年9月30日（月）